

# 東北地方の復興状況

## ～ 東日本大震災から9年 ～



令和2年3月10日

東北地方整備局

# 東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況

復旧・復興事業計画		2011年3月11日時点	2020年3月31日時点	2020年4月1日以降
東北地方整備局	復興道路・復興支援道路 <b>計画延長 550km</b> ※ ※国土交通省が中心となって整備している路線	供用中 160km(29%)	開通済 <b>418km</b> (76%)	事業中 <b>132km</b> (24%) 2020年度までの開通予定公表
	河川堤防 復旧・復興延長 <b>48km</b> ※ ※直轄河川堤防(河口部) (阿武隈川、名取川、鳴瀬川、旧北上川、北上川 の5河口)	被災・未整備延長 ▲ 48km( 0%)※ ※5河口の要整備延長	完成延長 約 <b>42km</b> (88%)※ ※5河口での整備済み延長 4河川完成済み (阿武隈川、鳴瀬川、北上川、名取川)	事業中 約 <b>6km</b> (12%)※ ※旧北上川のみ
	港湾防波堤 復旧延長 <b>8,920m</b> ※ ※大規模被災防波堤 (八戸港、釜石港、大船渡港、相馬港)	被災延長 ▲8,920 m( 0%)	復旧延長 <b>8,920m</b> (100%)	全て復旧
自治体	まちづくり ①災害公営住宅 <b>29,810戸</b> ②民間住宅等用宅地※ <b>18,234戸</b> ※防災集団移転促進事業、土地区画整理事業等	① 0戸( 0%) ② 0戸( 0%)	① <b>29,530戸</b> (99%) ② <b>18,180戸</b> (99%) ※「住まいの復興工程表」による (R01.9末現在)	① <b>280戸</b> ( 1%) ② <b>54戸</b> ( 1%) ※「住まいの復興工程表」による (R01.9末現在)

# 復旧・復興の進捗状況 ～道路～

○被災した直轄国道の本復旧は、全体延長の99%まで進捗

○令和元年12月22日には東北中央自動車道(相馬～福島)が常磐道と接続

## 【復興道路・復興支援道路の整備状況（直轄）】

2020.3.31時点

全体

418km (76%)

132km (24%)

合計 550km

三陸沿岸道路  
(仙台～八戸)

271km (75%)

88km (25%)

合計 359km

宮古盛岡横断道路  
(宮古～盛岡)

33km (50%)

33km (50%)

合計 66km

東北横断自動車道  
釜石秋田線(釜石～花巻)

80km (100%)

合計 80km

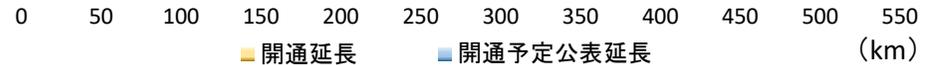
東北中央自動車道  
(相馬～福島)

34km (76%)

11km (24%)

合計 45km

復興・創生期間内(2020年度)  
までの全線開通を目指し整備  
を推進



■ 開通延長

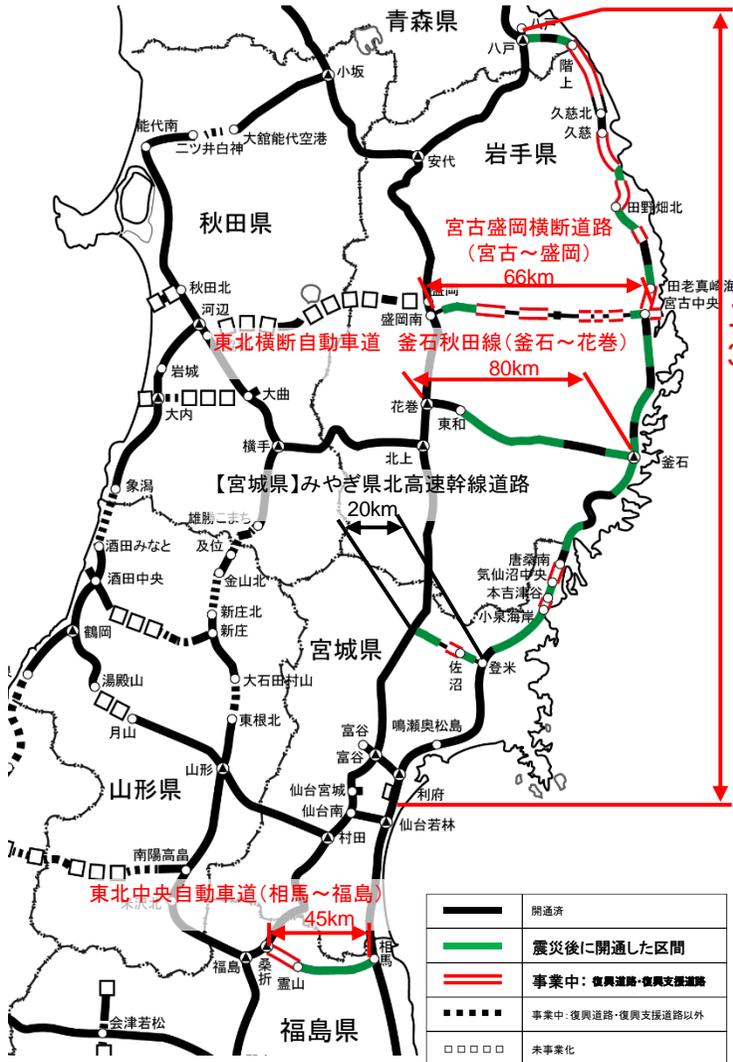
■ 開通予定公表延長

※国土交通省が中心となって整備を進めている路線全長550km

※この他、宮城県事業として、みやぎ県北高速幹線道路(20km)が事業中

三陸沿岸道路(釜石南IC～釜石両石IC)  
東北横断自動車道(釜石JCT～釜石仙人峠IC)  
【H31.3.9 開通】

東北中央自動車道(相馬～福島)  
相馬IC～相馬山上IC  
【R1.12.22開通】



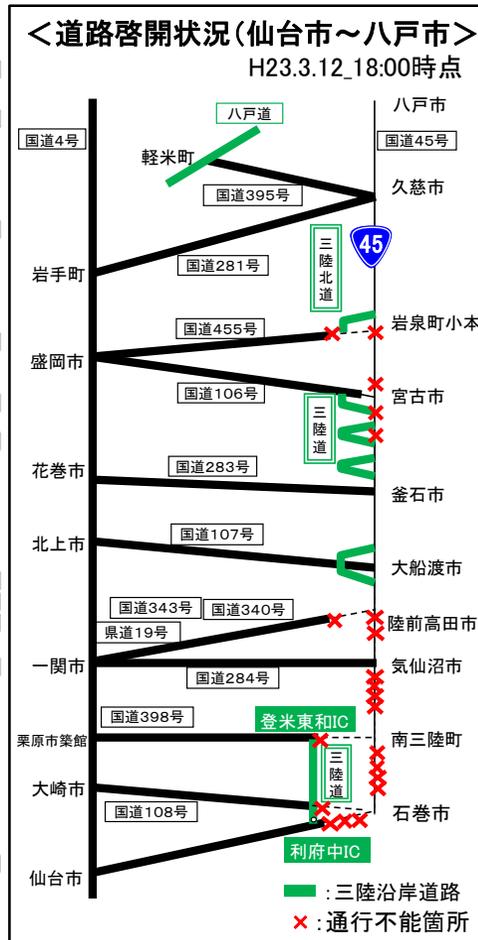
—	開通済
—	震災後に開通した区間
—	事業中：復興道路・復興支援道路
⋯	事業中：復興道路・復興支援道路以外
□□□□	未事業化

注：IC、JCT名称は仮称を含む

# 復興道路が台風第19号の災害復旧を支援

- 東日本大震災では三陸道の未整備区間が多く、くしの歯作戦を展開し横軸の救援ルートを確認
- 令和元年台風第19号により仙台～宮古間で国道45号、三陸道の各所で通行止めが発生したが復興道路の整備により、並行する道路が相互に補完し合い救援ルートを確認
- ⇒迅速な復旧を支援(整備中区間は令和2年度完成予定を公表)

## 東日本大震災

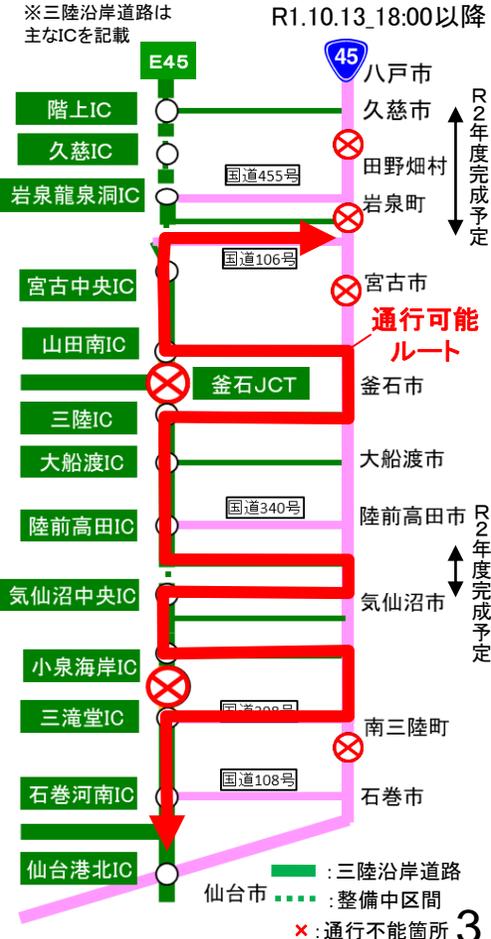


## 台風第19号

### 被災による全止め箇所図(直轄道路)



### <概略図(仙台市～八戸市)>



# 復旧・復興の進捗状況 ～河川～

- 北上川・鳴瀬川・名取川・阿武隈川の直轄河川堤防及び仙台湾の南部海岸堤防の復旧工事は全て完了
- 残る旧北上川河口部についても、2020年度の完了に向け、地域と一体となって整備を推進
- さらに、旧北上川(石巻地区)かわまちづくりなど、魅力ある水辺空間の形成や積極的な利活用の取り組みを支援



旧北上川(石巻地区)かわまちづくり

中央地区(平成28年4月)



中央地区(令和2年1月)



「いしのまき元気市場」周辺の整備状況

約118万人の集客※(2018)

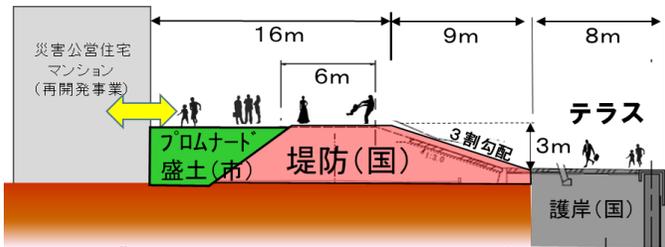


「いしのまき元気市場」

令和元年8月撮影



石巻川開き祭り(花火大会)の状況



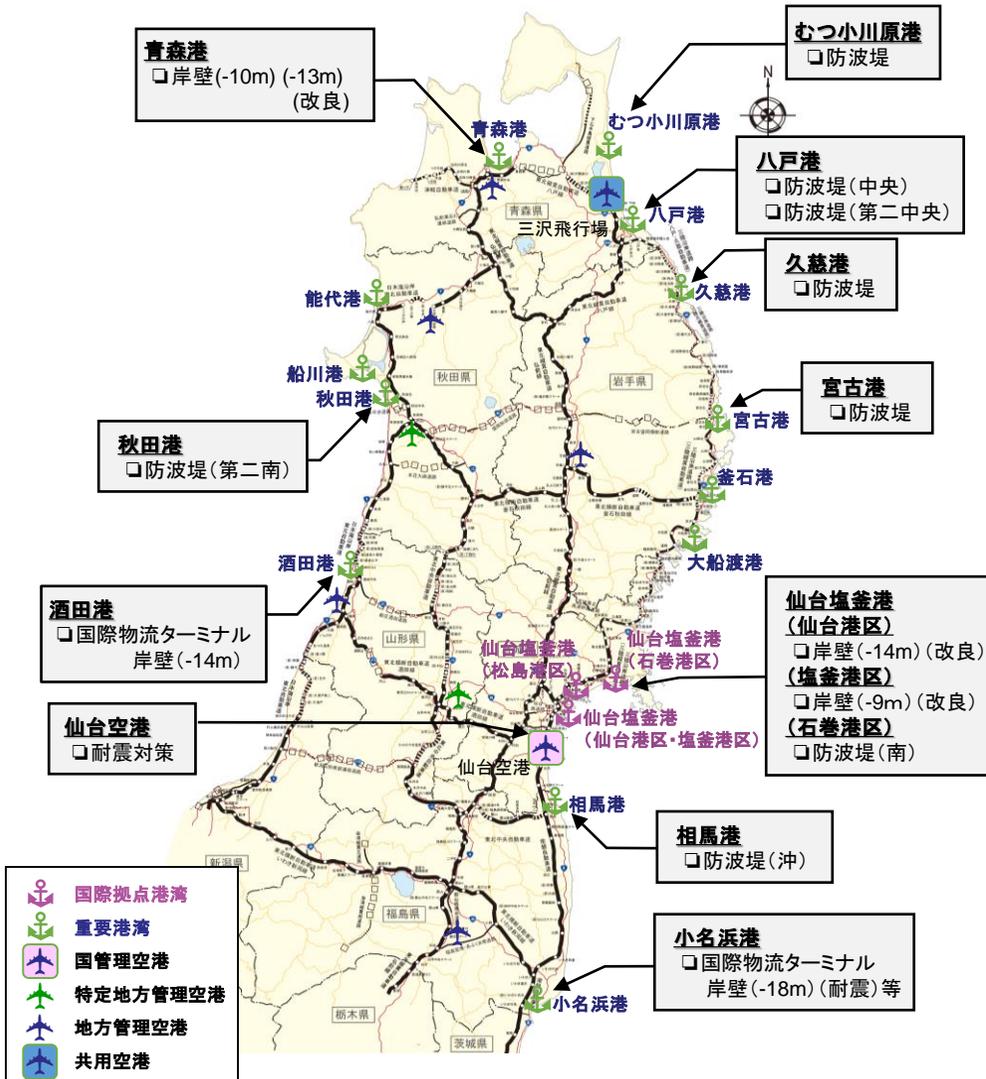
▲整備イメージ(標準断面)

※出典:「いしのまき元気市場」入口での人感カウンター値

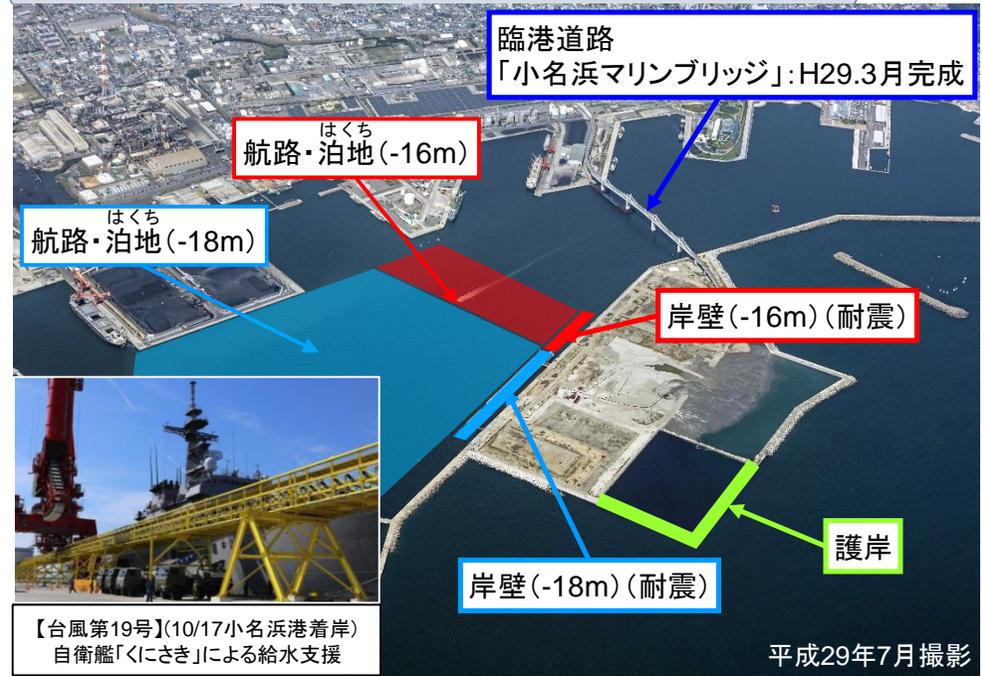
# 復旧・復興の進捗状況 ～港湾～

- 直轄港湾災害復旧事業は、平成30年3月末に釜石港湾口防波堤が完了し、全106施設の復旧が完了
- 今後は、さらなる物流の効率化の実現及び地域経済の活性化に向け、大水深岸壁や航路・泊地等の整備を推進

## □東北管内の港湾・空港関係の主な事業

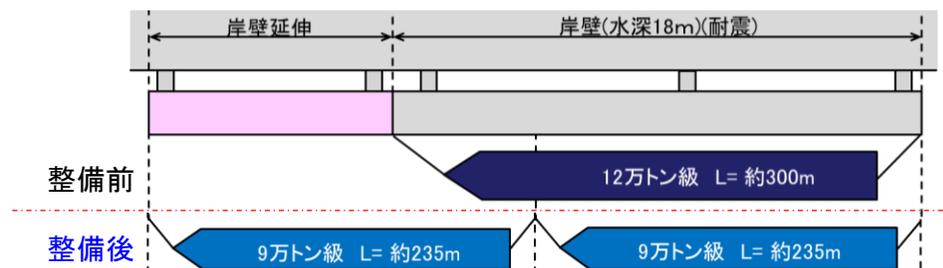


## 小名浜港東港地区国際物流ターミナル事業【事例】



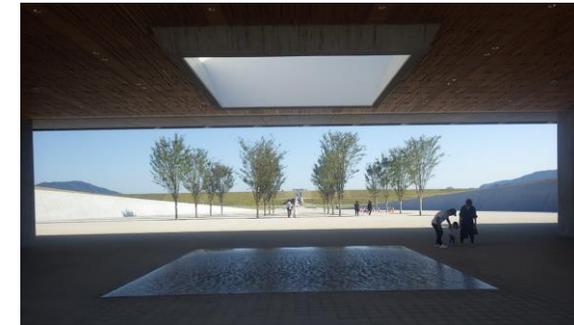
岸壁整備後の利用イメージ 9万トン級(ネオパナマックス)の石炭輸送船2隻の同時接岸を可能とする岸壁等の整備を実施

⇒岸壁(水深18m)を有効活用し、石炭需要の増加に対応





# 高田松原津波復興祈念公園(R1.9.22オープン) ～東日本大震災津波伝承館と道の駅「高田松原」～



▲追悼の広場  
(エントランスから海を望む広場に向かって)



▲東日本大震災津波伝承館の展示  
旧東北地整災害対策室(再現)



▲買い物客でにぎわう  
道の駅「高田松原」

# 東北の創造的な復興に向けて

## 第10回復興加速化会議での主なポイント

令和2年1月18日開催 赤羽国土交通大臣出席

- 復興事業進捗のため、令和2年度においても「復興係数」を継続
- 地方公共団体等との更なる連携により、「東北復興働き方・人づくり改革プロジェクト」の取組みを「深化・拡大」
- 引き続き各県・市と連携し、「3.11伝承ロード」等、東北地方整備局がとりまとめ役となり、震災伝承に関する取組みをより一層加速化



## 東北復興「働き方・人づくり改革プロジェクト」 さらに「深化・拡大」

### 働き方改革の推進

- ① 週休2日工事の普及拡大に向け 証明書発行の取組み自治体の拡大
- ② 「統一土曜一斉現場閉所」の取組み継続、閉所日数を 拡大
- ③ 長時間労働の抑制を図る ウィークリースタンスを市町村へ 拡大
- ④ 発注者全体の施工時期の平準化の目標を設定し、平準化を推進 **New**

### 生産性向上の推進

- ⑤ ICT活用工事の普及・拡大に向け 証明書発行の取組み自治体の拡大とともに、「簡易チャレンジ型ICT」を創設し、ICT未経験企業へ普及を推進 **New**
- ⑥ 工事書類の標準化を市町村に 拡大し、工事過程の映像活用で省力化推進
- ⑦ i-Constructionモデル事業の 拡大によるBIM/CIMの着実な推進

### 担い手の育成・確保 (地域の守り手確保)

- ⑧ 東北土木技術人材育成協議会による ICT・UAV講習受講者の拡大
- ⑨ 優良工事表彰に「地域の守り手 枠(維持工事)」を創設 **New**
- ⑩ 地域における維持工事の実績評価(一般土木工事で経常維持工事の実績評価)

# 震災伝承の取り組み ~交流促進・防災力の強化・地域創生に向けて~

## ◆震災伝承施設

224施設登録 (R2. 1現在)

訪問・理解のしやすさ

分類に応じ、統一した標章  
(ピクトグラム)の運用



■標章(ピクトグラム®)



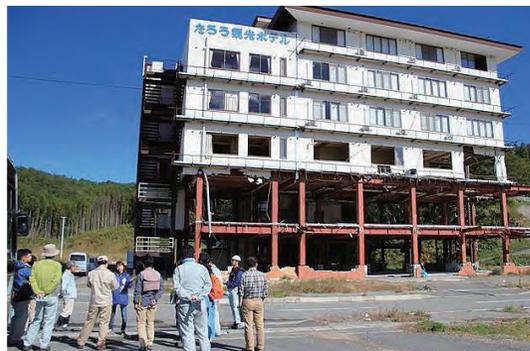
■案内看板(岩手県宮古市)



▲3.11伝承ロードパンフレット

## 「震災伝承施設の一例」

震災遺構 たろう観光ホテル



## 3.11伝承ロードのイメージ

